

# ◆常陸大宮市に 救援物資を搬送

三芳町は、東北、北陸、関東の6市5町と災害時の相互応援の協定関係にあります。

中でも茨城県常陸大宮市は、人的被害はなかったものの、家屋の倒壊や塀の崩落、ライフラインも一部絶たれ、本庁舎が避難所となっていました。市役所に問い合わせをしたところ、食料や水が不足しているとのこと。

急遽、救援物資の搬送を決定し、3月12日、14日の2度にわたり実施しました。提供物資は、町で備蓄している食品の一部（水、アルファ米、クラッカー、缶入りソフトパン）と米2t、（株）木村屋総本店三芳工場よりご提供いただいた

# ◆3月議会でも平成 23年度予算可決

3月定例議会が、2月28日から3月22日までの会期で開催され、新年度予算を含め、全ての議案が無事可決しました。

冒頭、新年度に向けての施政方針演説を行いました（三芳町公式ウェブサイトにて全文掲載）。また、就任後、初の定例議会ということもあり、議員の一般質問では私のマニフェストに関する質問が多く見られました。

今議会から、予算審査は本会議場ではなく、全員協議会室において予算特別委員会での審査になりました。

①本会議場での質問より、細かく徹底して審査ができること ②課長の他に副課長、係長も同席でき議員の質問を直接聞くことがで

た15000食のパンです。搬送については、トラック協会や災害対策協力会の協力を得て実施。なお、3月19日、同市の避難措置は終了し、市長より丁寧なお礼のお電話をいただきました。

## ●救援物資について

3月18日から募集しました救援物資につきましては、当初埼玉県の物資受付により、被災地へお届けする予定でしたが、予想を超える物資が届けられていることから、現在受付が一時停止となっており、（社）東入間青年会議所の支援活動を通じて、被災地に送られました。

今後の物資輸送手段については未定であることから、3月31日（木）をもって受付を一時休止させていただきます。新たに救援物

き、後継者の育成に役立つこと

③他の課の質問を同席して傍聴できる等多くのメリットがあるように思われます。

新年度の一般会計予算総額は、116億8788万円。昨年に比べ、1億2千万円の増となっています。日本の経済情勢は厳しい状況にあり、町の自主財源である町税等も回復しきれず、無駄なものは徹底して省く「選択と集中型」予算としました。

予算増の要因は、子ども手当、4月1日開園した民間保育園への助成、消防庁舎建て替え、広域ごみ処理施設建設に向けての負担金等の増によるものです。主な事業は、竹間沢小学校校舎耐震補強事業、三芳中学校体育館耐震補強工事、藤久保第1区第2集会所建設事業、緊急雇用創出対策事業など

資を募る場合には、改めてお知らせいたします。多くの皆様の善意に感謝申し上げます。

また、今回の大震災において防災無線が聞こえにくいという声を多く頂いています。今後、音量や無線の向きなどの調整をはかると共に、ツイッターなど新たなツールでのタイムリーな情報提供を考えていきたいと思っています。



トラックに物資を積み込む職員  
三芳町でもツイッター始めました  
[http://twtr.jp/user/miyoshi\\_machi/status](http://twtr.jp/user/miyoshi_machi/status)

の5事業です。また、マニフェストに係る諸経費も計上し、マニフェストの実行に取り組んでまいります。詳細については、「広報みよし」4月号の施政方針、平成23年度一般会計・特別・企業会計予算のあらましをご覧ください。なお、議会からの貴重なご意見も真摯に受け止め、町政に活かしていきたいと考えています。



全員協議会室での予算審査